

赤松總領事を送る

赤松總領事は、大正十四年十二月一日、當地へ着任以來茲に二年と五ヶ月になるが、其の内代理大使として約七ヶ月オに滞在されたのであるから、總領事として、總領事の職務を完全に執られたのは、僅か一年と十ヶ月である。故に若し普通凡庸の徒であるならば、何事も仕出さずして終つたのであらうが

そこは二年五ヶ月前に、吾人が不來着の赤松總領事と題し獻上迎の辭即ち「前略」……外務省に由來移民通なる尊稱がある、これは云ふ事に因つて附けられた尊稱である、故に赤松氏の移民通長か移民課長の椅子に長く居てゐるのも、比較的長く移民課長の椅子に坐れる事に因つて附

りして其の語の意味は、通商局に於ける事は、前に述べた國內の社會問題を緩和する爲めの海外移民に、最も強く力瘤を入れられた移民通とは、其の趣きを異にするものなる事を記憶せばならぬ、殊に齊藤總領事の退職後半歳の長き間、任命難で定像するまでなく、赤松氏は海外移民一主として伯國移民一如の處から、其の力瘤を入れられた仕事は、帝國の官吏として、是非其の責任を果す

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes, 16
Caixa, H. Teleph. 2-5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e Editor
Seisaku Kuroishi
Assinatura
Por Anno..... 25.000
Semestre..... 13.000
Mez..... 24.000
Senuna..... 5.000

紡績業の危機(上)

織物ご之が原料及び綿布輸出入

當地エスターード紙の載する處に據れば、ブラジルの各州が資本の十分でないにも拘らず、競争の結果、今日に影響する所は事業の減資であり、

工合悪しく、且つ能率上がる如きで、生産の低下である。是以前の損失の埋め合せをして業務に支障を来たせし工場

つて工場を設け、而かも外國より輸入される織物機粗造の爲めに非されば、成功覺束ないこの

四%の配當をなしした工場もあるものが多いで、いふ状態である。

上述の財界の現象に對し、讀者の研究に資せんが爲め二三の統計を引用すれば、一九二五年の

終りに、聖州内の紡績工場數六十六萬三千二百五十四、織機二コントス七百七十三ミル、職員工三萬八千八百七十三人、紡錘六十六萬五百六十臺、四萬二千七百五十三馬力であったが、二年後

の昨年度に至ると工場數八十一

トス七百七十三ミル、職工四萬

紡績業の危機

業績の危機

八和(上)

金和西施
時報

NOTÍCIAS DO BRAZIL
 Publicado semanalmente
 Rue Fugues, n.º 16
 Caixa Postal, Tel. 2-5608
 São Paulo, Brazil
 Proprietário e Editor
 Seisairo Kuroishi
 Assinatura
 Por Anno..... 25000
 " Semestre..... 13000
 " M. 2400
 " Semana..... 5000

謹啓益々御清榮奉大賀候陳は来る四月廿九日は諒闇明け昭和第二次の天長節に有之候故弊社も奉祝の意を表し度準備能在候處三月八日突如久宮祐子内親王殿下薨去の御報を拜するに至り哀悼に堪へざると共に天長節の祝賀も御遠慮申上ざるべからずと存居候然る處其後遠慮に及ばずこの情報ありてやに承はり天長節當日には奉祝號を發行し在留七萬の同胞と共に遙に聖壽の無疆と帝國の萬歳とを祝祈致す事に致候間天長節奉祝號には吉例に依り祝賀廣告御申込に預り度此段奉願上候 敬具

伯刺西爾時報社

Notícias do Brasil

廣告率(金二十三ミル) 一段四分ノ一形
金四十二ミル 半段又ハ二段四分ノ一形
金五十八ミル 一段又ハ二段四分ノ一形
金七十五ミル 三段又ハ二段四分ノ一形
金一百ミル 四段又ハ二段四分ノ一形
金一百四十ミル 四段連シ即ナ半ペーチ形

三

三

【弘前大火】十八日同市に大火 起り一千戸を焼き七時間後に鎮火 消失。家屋の内には學校四、銀行二、病院六、寺院二あり損害多額に登る見込み		老齋を以て實業界の大立物大倉喜八郎氏は死去した	
【米驅逐艦隊訪日】日本訪問の目的を以て十六日北米艦隊は横濱に入港した、碇泊日數は向ふ一週間だと		【大倉男死去】十八日九十一の老齋を以て實業界の大立物大倉喜八郎氏は死去した	
【伯國外債】英國經濟新聞の發表する所によればブラジル各州が倫敦市場に於て外債を募る計畫がある、中にもマント・グローヴソ州は二百萬磅募集の意向である		【米驅逐艦隊訪日】日本訪問の目的を以て十六日北米艦隊は横濱に入港した、碇泊日數は向ふ一週間だと	
【伯國外債】英國經濟新聞の發表する所によればブラジル各州が倫敦市場に於て外債を募る計畫がある、中にもマント・グローヴソ州は二百萬磅募集の意向である		【米驅逐艦隊訪日】日本訪問の目的を以て十六日北米艦隊は横濱に入港した、碇泊日數は向ふ一週間だと	
【伯國外債】英國經濟新聞の發表する所によればブラジル各州が倫敦市場に於て外債を募る計畫がある、中にもマント・グローヴソ州は二百萬磅募集の意向である		【米驅逐艦隊訪日】日本訪問の目的を以て十六日北米艦隊は横濱に入港した、碇泊日數は向ふ一週間だと	



FERNANDO DE ALMEIDA PRADO

Rua Santa Catherina, 1
Est. Avaré E. F. Sorocabana

◆ 棉！栽培者へ
Fernando de Almeida Prado
Rua Santa Catherina, 1
Est. Avaré E. F. Sorocabana
量の如何を問はず
代金は取り扱い
新らししいマキナを
アーバレス・マッソ
御取引願ひます

◆ 食料品
耕地内に食料品を販賣する店あり必要なる
物は其處にて求め支拂は帳簿の上にてなす
其他牛肉は毎土曜一匹宛食用の爲め屠殺
シコロノは日曜の朝早く求むるを得、牛乳
は毎朝望みに應じ低廉にて分つ(一リット
ル三百レース)

◆ 稲作
天候その他に特別の變則なき限り本年度の
収穫は大いに期待する、昨年度平均千本に
付き二四〇アローバを得又五拾本に付き百
拾リットル入り拾七八俵も出せし地區あ
り、以上の如きにて今年度の収穫はコロノ
に大なる利益有る事と豫想さる

◆ 糕
是非一度御視察をお勧め申します
農場は鐵道より僅か二キロメートル
の距離に在つてカンバラより四
キロメートルです。

◆ 糕
此の「アルキメデス」は船尾
モータード用に最も強力で經濟
に出来てます

◆ 糕

日十二月四日

植民地行脚 (其二)

別天地ワルバ植民地
井滿河波生

農具庫にはマツシャード、フォイセ、エンシヤーダの類が數へ切れ程澤山それが順序正しく並べ掛けられ兒童のために小病室がありまた靴工場、裁縫場印刷場など至れり盡せりである印刷工場では時々宗教、衛生産業などに關するパンフレットを印刷して村へまた他の知己へ百布するのだといふ。赤い新聞を發行するなどは以ての外の証傳で一言私は頗まれたわけではないが辯じて置かう。

寄宿舎から二三キロ離れた所に牧場があり近い乳牛が五頭ある。婦人の手に依つて養はれてゐる。乳は村の需要を充たした餘分は全部マンテーガにしてサンパウロに出すのだといふ。此の邊へあるが此の近くに煉瓦の工場もあるさうだ。一行はこの部落で村の人達と一緒に食事をした、マンデヨカとフバが多分にはいつてゐるらしいパンもマンテーガの豊富なのであらしく喰べた、何といふかレーチで煮いたお粥も美味いものであつた、此の共産村の内で屋外労働に堪え得る者は農繁期を附近に出稼して賃金を儲け特殊の技術を有する者は遠く聖市にてゐる。青年子女の保護監督に任じてゐるといふ尙ほ此の植民地

にはマツシャード、フォイセ、エンシヤーダの類が數へ切れ程澤山それが順序正しく並べ掛けられ兒童のために小病室がありまた靴工場、裁縫場印刷場など至れり盡せりである印刷工場では時々宗教、衛生産業などに關するパンフレットを印刷して村へまた他の知己へ百布するのだといふ。赤い新聞を發行するなどは以ての外の証傳で一言私は頗まれたわけではないが辯じて置かう。

寄宿舎から二三キロ離れた所に牧場があり近い乳牛が五頭ある。婦人の手に依つて養はれてゐる。乳は村の需要を充たした餘分は全部マンテーガにしてサンパウロに出すのだといふ。此の邊へあるが此の近くに煉瓦の工場もあるさうだ。一行はこの部落で村の人達と一緒に食事をした、マンデヨカとフバが多分にはいつてゐるらしいパンもマンテーガの豊富なのであらしく喰べた、何といふかレーチで煮いたお粥も美味いものであつた、此の共産村の内で屋外労働に堪え得る者は農繁期を附近に出稼して賃金を儲け特殊の技術を有する者は遠く聖市にてゐる。青年子女の保護監督に任じてゐるといふ尚ほ此の植民地

瞬間的 懸念 結婚の理由 (下)

口婦人家庭

Garage Congresso
(JAPONEZES)
Rua Dr. João Mendes, 3
Tel. 2-0081 - S. Paulo

電話二二八一
サンパウロ市
ソルバント
アスニメ

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

車

日本移民は服装が綺麗で清潔で静肅で、ソシテ規津が正しいと言ふ事は抑も、サントス上陸當時より收容所内に於ても見る人々から好評されではあるが、之が反面に心あるものゝ眼から見られた時には、こんな綺麗な服装で、そして優し相な移民が當國農業の手助けになるであろうかと満面作り、怪訝な顔見て居るものがある、中には所謂洋行でもする様な考へて神戸や長崎港の不正商人に煽動され且つ利用され、絹の服や帽子を着て得意満々としてやつて来る婦人方を見る事、實に外も觀光でも來たのではなく移民人に對し心恥かしく思はず冷汗を流させらるゝ事が暫々あるが前にも述ぶるやうに、所謂洋行でして體きに來たものであるから成るべく外人に立たない様な、經濟的丈夫相な服装をして来れば、夫のが一番結構で寧ろ外人間に歓迎されるゝものである、而して如斯紺布を纏つて來るが一律でカツチリした木綿の丈夫相なのが如何に當國人士に喜ばれるか知れない、こう云ふべラ／＼した紺布を纏ひ珍妙な風をして御得意然たる婦人を見る事何時でも沖縄婦人の整然とした服装が思ひ出される、又男の方々に於ても同様で、洋装の練習がなく、生來初めて婦人に於て上船の際只つた一度着たぎりで行李の内に仕舞込みイザ上陸と云ふ時に再び二度目に着服するなど云ふ様な人々が多數を占めてゐるのであるから、襟とネクタイの荷物は普通便にて發送され健全ださ

移民收容所から見た新移民

タイの調和が取れず、襟は右向てゐたから早くも一週間、延着な工合で、中には坊さんの襟のズボンのボタン位は如何でもいい位に考へて居るゝ方もある様に見受けられる、而して是等の人々が收容所内に於て税關荷物検査の際にズボンのまゝで動いて居らるゝが、御本人は夫婦人中には肌を現はし踊んで向ふ脛を出して居らるゝ處を見れば實に冷々させられるが、要するに收容所到着一兩日間は未だ國に來た様な氣がして居らるゝ兩日中其習慣が取れな

いだらうと思ふ、乍併サントス

月十日

山崩れ義捐金募集

ノロエステ欄

山崩れ義捐金募集

ノロエステ線

月十日

山崩れ義捐金募集

ノロエステ

月十日

山崩れ義捐金募集

大石内藏之助

校水

右衛門は語る。
「御芳志の程は永劫忘却仕づら

第三百六十八回

吉田忠左衛門は人々に向ひ
同志四十七人の内、原惣右
門、杉野十平次、近松勘六、
林唯七の母は、何れも自害致
て御座る
『その外若い女の身で、さま

武術 し ざ
TAKAOKA
E OPERADOR
Andes, 8. S. Paulo

PHOTO -
TO STUDIO"

大阪
日本へ
（命令定期毎月一回）
優秀の大型客船
◇早くて確實な

た、今より十五日猶御して登城致す間、退出まで兩人は、此の儘當家に相待ち居らうぞ。畏まつて御座ります。

販賣次取
一ガニシ
SHINGA
MACHINAS
YNGLES
SACAR
OT
電話
サ
アトロ・

神戸まで

早く着く船 母國へ一番

聖市アッセンノレア街三一四八一八
電話二一四八一八

大河内樂化學研究所

取次所 各地邦人商店へ御尋ね下さい

maio de 1928

有名なバナマ運河北米諸港を御見物の好機

日本より
◎は わ い丸

五月七日サントス着
五月九日リ オ着

Antunes dos Santos & Co.

四月廿五日サントス發
四月廿七日リ オ着

洲
セイ
新郎院
販賣次取
シングガーミシン會社と取
卒御用命下さい、商市内
在住の方には月賦拂の便
をお計ひします
聖市コンデ牌四三音
呼出電話二・六一七三
當盤ホアルの隣
最新式型洋服町営で確實
石井洋服店

F. S. Hampshire & Companhia Ltd.

S. Paulo : Rua Alvares Pentado, 17 Sobrado
Santos : Rua 15 de Novembro, 147 Sobrado

Kawachi-Maru Sairá de Santos no dia 10 de maio de 1928

一一、狹い袖口を引出して、
一一、御不審は御道理、一昨夜老母の許へ、暇乞ひに参った時、折から雪降り、老母が此の小袖を取出し、拙者へ與へました意は、母も汝の身に添うて、此の義舉に加はる、必ず母があらうと思ふな、跡に妻子があると心怠ふな、只一筋に君のおん爲め書を報いて本意を遂げ、母諸君を参ると思へど、教訓のたまも御座ります」といへば一同感涙を禁め敢ず、
武士の母ともなる人は、左様なうては叶はぬ事、唯々感心の外御座らぬ

故大夫使館二等通譯官從七位嶺昌君客年三月十五日死去當市ハケタ墓地へ埋葬せられたるに付豫て本會は墓碑の建立を遺族ニ協議中の尙今般同意ありたるを以て其の經費を廣く故生前の知己諸彦より募り俱に追悼の意を表し度に付御賛成被下度候